



静岡県教育委員会
教育広報紙

自立し、互いに関わり合いながら、よりよい社会づくりに参画し行動する「有徳の人」の育成を目指して

Eジャーナルしずおか

平成28年(2016年)
11月7日
月曜日
第179号

発行・編集 教育政策課 〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号 TEL 054-221-3168 FAX 054-221-3561 E-mail kyoul_seisaku@pref.shizuoka.lg.jp

県教委を去るに当たって 加藤 文夫



教育委員 学習、総合学習と呼ばれ
員の任期 ている内容に近づきます。
を終える こうした変化の一環と
に当たり、して、教育委員会制度が2
015年に大きく変わりま
りました。地方分権が根付
いた中で教育委員会制
度の改革です。違和感
はなく、教育委員会は首
長や議会と一体になり、静
岡県の教育行政を進めて
いくこととなります。

静岡県教育委員の加藤文夫氏と溝口紀子氏は、平成28年10月18日をもって退任いたしました。この度、両氏から任期を振り返ってのご挨拶をいただきましたので、紹介します。

教育委員会の3つの能力 溝口 紀子



この度 拙な意見に対して委員長
5年7カ 事務局長、教育委員の方々、
月、2期の 事務局の方々はいつも傾聴
任期を無 してくださり、自由な議論
していただき、自由な議論
の雰囲気の中で見識を高
めることができました。そし
て多様化、複雑化する教
育の難問に対して、決して
正解がないという難しさも
学ぶことができました。

事終了し教育委員を退任
いたします。お世話になつた
教育委員会の皆さま、学校
関係者の皆さま、そして私
を任命してくださつた知事、
県議会、各専門委員の方々
に心よりお礼申し上げます。
約6年間という月日は
小学校の在学期間と同じ
で、私にとっては教育委員
会を卒業するような気持ち
です。就任した当時の私
は、何も知らない1年生で
ぶしつけな質問や言動があ
つたかと存じます。私の稚
私がかねません。
私が在任中に心掛けて
信ずる能力です。とりわけ
選は廃止され、首長が任命
する教育委員の中から委
員長が互選される形にな
り、2015年に委員長職
が廃止、教育長に一本化さ
れ首長の直接任命に変わ
りました。地方分権が根付
いた中で教育委員会制
度の改革です。違和感
はなく、教育委員会は首
長や議会と一体になり、静
岡県の教育行政を進めて
いくこととなります。

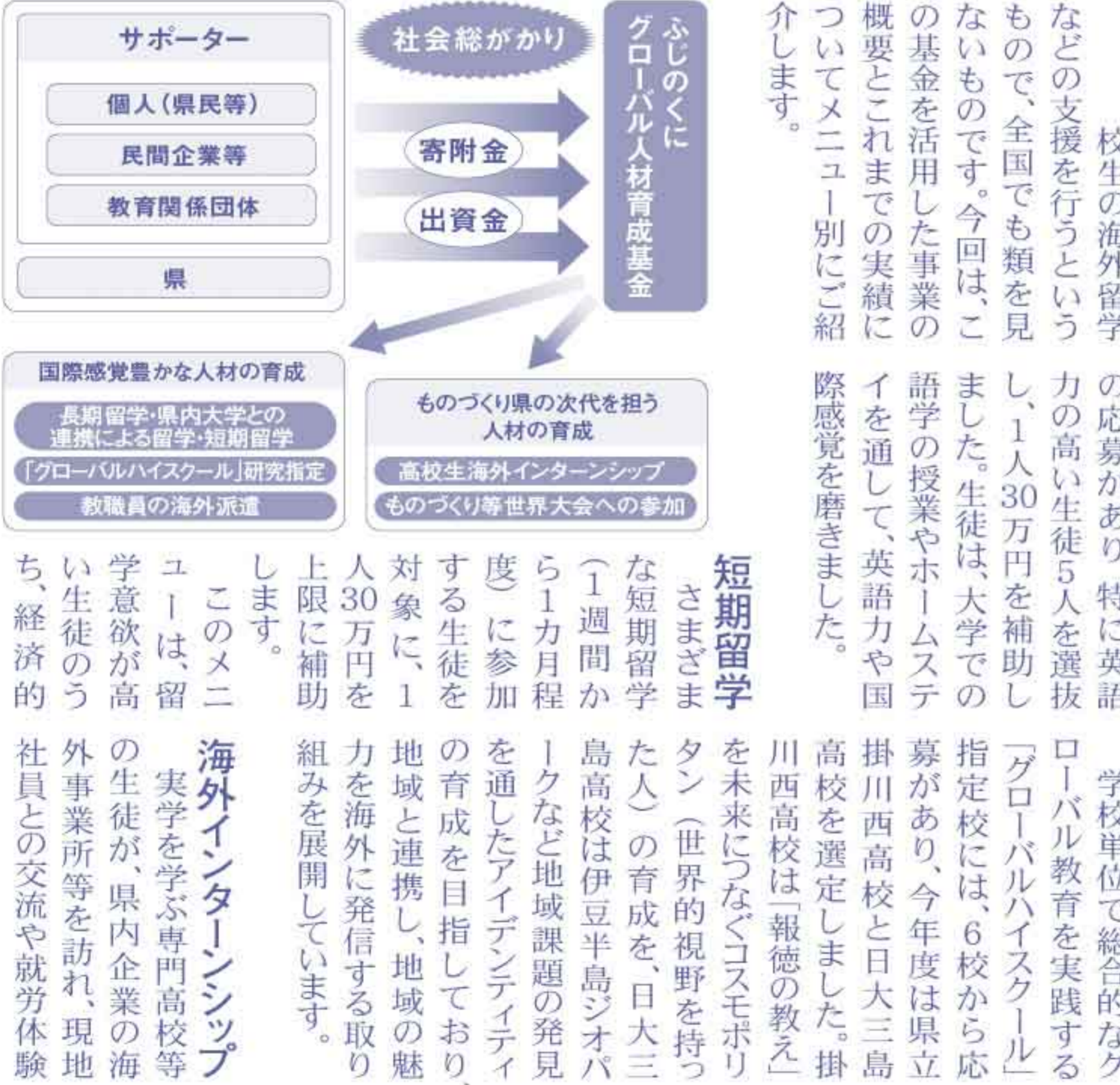
世界を目指す高校生を応援します！ 「ふじのくにグローバル人材育成基金」

本年度、県教育委員会では、
育委員会で、 高校生の段階で長期
国際的に活躍し
ようとする意欲
のある高校生や
グローバル教育
の推進を図る学
校・教職員を支
援するため、「ふ
じのくにグロー
バル人材育成基
金」を創設しま
した。この基金
は、県の出資と
産業界や県民の
皆さまからのご
寄附を元に、高
校生の海外留学
などの支援を行うという
もので、全国でも類を見
ないものです。今回は、こ
の基金を活用した事業の
概要とこれまでの実績に
ついてメニュー別にご紹
介します。



カリフォルニア州立大学サクラメント校での授業に参加した高校生

「Why do you want to study abroad?
“Because now is the perfect time!”
本年度、県教育委員会では、
育委員会で、 高校生の段階で長期
国際的に活躍し
ようとする意欲
のある高校生や
グローバル教育
の推進を図る学
校・教職員を支
援するため、「ふ
じのくにグロー
バル人材育成基
金」を創設しま
した。この基金
は、県の出資と
産業界や県民の
皆さまからのご
寄附を元に、高
校生の海外留学
などの支援を行うという
もので、全国でも類を見
ないものです。今回は、こ
の基金を活用した事業の
概要とこれまでの実績に
ついてメニュー別にご紹
介します。



等を行う海外インターンシップ事業を8月に実施しました。専門学科、総合学科から選抜された2年生15人が、中国、台湾、タイの3コースに分かれて参加しました。国内工場では技術を学んでから、海外の工場で実習を行い、最後は全生徒に成果を報告するという、充実したプログラムとなっています。

実践NOTE 357

「つながり学習」の実践

吉田特別支援学校 教諭 三輪 雅子



筆者

地域とつながる学校を目指して

吉田特別支援学校は、

榛南地区の児童生徒の通学負担軽減と藤枝特別支援学校の狭隘化解消の目的で、旧県立吉田高校を改修して平成27年度に開校しました。

初めてできる特別支援学校に対しての地域の関心は高く、開校式や学校公開には多くの地域の方々が訪れてくれました。本校は、教育理念である「つながり合い、学び愛され、信頼される学校を目指す」とともに、児童生徒の「地域の中でつながり合っている生きる力」を育てていく取り組みを始めました。

つながり学習「つな学」

教育理念を具現化するため、本校では、地域資源(人、施設、特産物、自然等)を活用した学習「つな学」



小学部 地域の方々と交流を深める



高等部 地域の花壇の整備を行う

ながり学習(つな学)に取り組みんでいます。

この「つな学」では、児童生徒が学校周辺に掛けて、自分たちの暮らしている地域の施設について調べたり、特産物について地域の方々に教わるという活動を行っています。

また、児童生徒だけでなく教員も、より地域に目を向けることができるように、訪れた場所を地図に書き込んでいく「つな学マップ」やコメントや感想を書き込む「つな学メモ」を作成しました。

児童生徒は、廊下に貼ってある「つな学マップ」を見て、これまで訪れた場所や学習を思い出したり、自分たちも行ってみようという気持ちを持つことができています。また、教員にとっても、情報を共有し、次の活動を考える手立てになっています。

各学部の「つな学」の取り組み

小学部は、地域の散策や地域施設の利用を中心に取り組みました。近く

の公園、神社、小山城に出掛けたり、図書館や「吉田町立ちいさな理科館」などを利用するうちに、学校周辺への関心が広がりました。



中学部 地域の特産品について調べる

津市にまで活動範囲を広げ、施設に出掛けて、お茶やうなぎなどの特産品について調べました。実際に見たり、触れたりしながら調べることで、地域への理解を深めることができました。

高等部は、校外で行う地域作業や地域の材料を使ったものづくりを中心に取り組みました。役場や公園の花壇の整備を行ったり、近くの小山城や富士山静岡空港をデザインした作業製品を吉田町

に展示しました。このような取り組みにより、地域の方々が児童生徒に温かい声を掛けて

くれたり、学校に目を向けてくれたりすることが増えてきました。

地域の中の学校として

開校初年度は、手探りで地域資源の開拓や活用を進めてきました。

今年度に入り、支援やボランティアを申し出てくださる地域の方が増え、近隣の方々の日常的な交流も行われるようになってきました。

「つな学」に取り組む中で、地域に関心を持ち、地域の方々と関わる喜びを味わっているように感じます。また、学校に訪れてくれるたくさんの方々が、子どもたちとふれあい、笑顔で帰られる姿を見ると、とてもうれしく思います。

これからも「つな学」を中心に、児童生徒が地域の中で生き生きと生活できる力を育むとともに、地域に根付き、愛され、共生社会づくりを推進していく学校を目指していきたいと思

実践NOTE 358

RG授業を手立てとした学びの充実

川根本町立中川根中学校 教諭 矢部 剛志



授業中の筆者

RG授業※で磨く

※「学校間連携(Rグループ)授業」の略称で、学校間で連携し、学習内容や児童生徒の実態に応じて最適な人数で行う授業。

「本川根中の生徒と一緒に授業をすると、違う考え方や視点があることに気づき、話し合いをしていて楽しい」本川根中の生徒は、自分から手を上げて発表する生徒が多い。自分も積極的に発表したい

これは、本川根中と中川根中によるRG授業後



[RG授業より(理科)]両校の生徒がグループを組み実験を行う



[RG授業より(技術)]両校の生徒が協力して製作品を組み立てる

に、本校の生徒が自分の学びを振り返って書いた感想です。両校の生徒が関わることによって、互いの価値観が広がったり、深まったりしながら、磨かれていくことが分かります。生徒はRG授業を通して、日頃の授業での取り組みを見つめ直し、自らの表現力を高めようとしています。

RG授業が目指していること

川根本町では、小規模校である町内各小中学校の良さを最大限に生かし、コミュニケーション能力や表現力、課題解決力を身に付けた子どもの育成を目指して、平成27年度から「学力向上ネットワークプラン」をキャリ

ア教育を基盤としたRG授業」に取り組んでいます。このプランの中核となるRG授業は、学習内容に応じて、より効果的な学習の場を創り出し、学力の定着を図ることをねらいとしています。平成28年度は、町内に2校ある中学校で年間5回のRG授業を予定しています。

学びの実感を積み重ねるための振り返り

「今日の問題は難しかったけれど、〇〇さんの意見を聞いたら、よく分かってすっきりしました。次の授業が楽しみです」これは、「振り返りシート」に書かれた生徒の言葉です。学びの実感を積み重ねることが自信となり、次の学びへのエネルギーとなつていきます。教師は「振り返りシート」を分析することにより、一人の理解度やつまづきを把握できます。職員室では、授業における生徒の様子が多く語られ、生徒が中心となる授業改善も進んでいます。

生徒や教師にとって、日々の授業で培った力がRG授業という場で発揮され、確かな学力の育成につながるよう引き続き、学力向上ネットワークプランに沿った校内研修を推進していきたいと思

どの教科でも毎時間「振り返り」の時間を設け、自己の学びの変容を生徒自らが認識し、表現することに取組みました。教師は、そこから得られた知見を生かして、生徒の「付けた力」を明確にした上で、次の単元や授業を構想しています。



両校の教師による授業検討会

確かな学力の育成につながるために

「今日の問題は難しかったけれど、〇〇さんの意見を聞いたら、よく分かってすっきりしました。次の授業が楽しみです」これは、「振り返りシート」に書かれた生徒の言葉です。学びの実感を積み重ねることが自信となり、次の学びへのエネルギーとなつていきます。教師は「振り返りシート」を分析することにより、一人の理解度やつまづきを把握できます。職員室では、授業における生徒の様子が多く語られ、生徒が中心となる授業改善も進んでいます。

生徒や教師にとって、日々の授業で培った力がRG授業という場で発揮され、確かな学力の育成につながるよう引き続き、学力向上ネットワークプランに沿った校内研修を推進していきたいと思

どの教科でも毎時間「振り返り」の時間を設け、自己の学びの変容を生徒自らが認識し、表現することに取組みました。教師は、そこから得られた知見を生かして、生徒の「付けた力」を明確にした上で、次の単元や授業を構想しています。

11月は「家庭教育を考える強調月間」です！



県では、毎年11月を「家庭教育を考える強調月間」としています。これを機会に、家族が一緒に過ごす時間について家族みんなで振り返ってみませんか？

「一緒に過ごす時間」が大切！食事や買い物、散歩など、普段の生活の中でできることを、家族そろって一緒にしていきましょう！

現代はライフスタイルが多様化し、家族それぞれが忙しいため、全員がそろってなかなか難しくなつてきています。だからこそ、家族が一緒に時間を過ごし、家族の絆を深めることが大切です。一緒に過ごす時間の中で、心が通い合い、お互いのことを思いやる心が育まれます。

『静西教育事務所 授業改善メッセージ』 子どもの学びの姿から授業を見直す

静岡県では、一人一人の子どもに「確かな学力」を育むため、「学びの実感」を積み重ねる授業を目標として、授業改善に取り組んでいます。この考えに基づき、静西教育事務所では本年度「授業改善メッセージ」を管内小中学校に示しました。

- ◆一人一人の学びの姿に目を向ける
- ◆一人一人に目的意識や必要感をもたせる
- ◆子どもの姿を思い描いて授業を構想する

子ども一人一人の学びの姿から授業を見直す

本報では、一人一人の子どもに「確かな学力」を育むため、「学びの実感」を積み重ねる授業を目標として、授業改善に取り組んでいます。この考えに基づき、静西教育事務所では本年度「授業改善メッセージ」を管内小中学校に示しました。

◆一人一人の学びの姿に目を向ける
子ども一人一人の学びの姿に目を向けることは、授業改善の第一歩です。子どもが何を学びたいのか、何を学ぶ必要があるのか、何を学ぶことが楽しいのか、などを観察し、授業を構想します。

◆一人一人に目的意識や必要感をもたせる
子ども一人一人に目的意識や必要感をもたせることは、授業改善の第二歩です。子どもが何を学ぶ必要があるのか、何を学ぶことが楽しいのか、などを観察し、授業を構想します。

◆子どもの姿を思い描いて授業を構想する
子ども一人一人の姿を思い描いて授業を構想することは、授業改善の第三歩です。子どもが何を学びたいのか、何を学ぶ必要があるのか、何を学ぶことが楽しいのか、などを観察し、授業を構想します。

あなたの授業には、子どものどんな姿がありますか

改めて大切にしたいと受け止めたことです。教員一人一人が、子どもの姿から授業を見直し、誠実に授業改善に取り組むことが大切だと考えます。

子どもの学びの姿から授業改善の方向性を探る。焼津市立黒石小学校の研修を紹介いたします。

一人一人が目的意識をもって学ぶ

5年生の家庭科「片付けの達人になろう」の学習です。グループで「こんな引き出しにしたらいりやすい」という理想の引き出しを設定し、片付け方法を探っていきます。「家ではこうやるよ」「仕切りを使ったら…」畳み方を



目的をもって整理の方法を探る子どもたちの姿

子ども一人一人の姿から授業を見直す事後研修

事後研修では、抽出児（あらかじめ詳しく観察

「静西教育事務所」

「夢・未来を創造する」総合学科

総合学科は、中学校で明確な進路目標が持てなくても、高校で将来の進路や職業を主体的に選択する力が備わるように、幅広いカリキュラムを設けています。

1年次に「産業社会と人間」という科目で体験的な学習や進路ガイダンス等を行い、進路選択への自覚を深めます。2・3年次には、数多くの選択科目から各自の関心、進路目標に合わせて科目を選び、主体的に学習を進めます。

また、多様な選択科目や体験的な学習を展開することから、地域の方々に支えられ、地域と密接な関係を築いています。

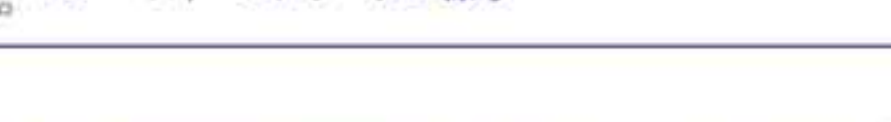
総合学科では、「学校設定科目」「課題研究」「総合的な学習の時間」など、課題解決学習を取り入れていくことが特徴的です。これは、まさに次期学習指導要領の目指す「課題の発見・解決に向けた主体的・協働的な学習（アクティブ・ラーニング）」です。総合学科の創設時から実践している「学びのプロセス」を大切にしたい教育活動を通じて、将来の職業人として求められる多くの能力が磨かれ、進路から就職までの幅広い進路実現につながっています。

生徒発表会

大会では、まず、各学校の生徒が多彩なテーマで学習成果を発表しました。【表・左】。大学や地元企業等と連携した取り組みが多く、総合学科ならではの学習がさらに深化していることが分かりました。

自らの可能性を拡げ、充実した学びが可能となる総合学科は、近年ますます高まっています。皆さんもぜひ注目してください。

【高校教育課】



フィールドワークの様子

自由に行動し、楽しむ



自由に行動し、楽しむ

なる午後4時以降と日曜日の行動に支障が出た。2人とも長期間学習したつもり（？）英語が全く通じないのである。

もとより英語圏ではない国で、日本語なまりの英語など通用するはずはないが、レストランにおいてドイツ語のメニューで注文すれば、想像もしない料理を食べることになり、列車の切符を買おうとしても話がかみ合わず、駅員が怒り出す始末であった。

勉強の目的

小学生の頃、何のため

自由に行動し、楽しむ

「自由に行動し、楽しむ」ために必要な大事な要素を含まれていることになる。

そして、県が推進する静岡県教育振興基本計画「有徳の人」づくりの実現のためにも、県下全ての教職員が、心身共に健康であることが必要であり、常に意識しなければならぬことであると考

改めて本課の事業目的達成のために、努力を惜しんでほしいと感じた反省

前述の先生にはいろいろなことを教えていただき、今でも感謝しているが、最も心に残っているのは、6年生最後の通信簿に「理屈より、まず実行!!」と、ピットクリマックをうたったことだ。きっと、口から先に生まれてきたような私の将来を案じ、反省するように最後に諭してくれたのであろう。

改めて本課の事業目的達成のために、努力を惜しんでほしいと感じた反省

前述の先生にはいろいろなことを教えていただき、今でも感謝しているが、最も心に残っているのは、6年生最後の通信簿に「理屈より、まず実行!!」と、ピットクリマックをうたったことだ。きっと、口から先に生まれてきたような私の将来を案じ、反省するように最後に諭してくれたのであろう。

改めて本課の事業目的達成のために、努力を惜しんでほしいと感じた反省

前述の先生にはいろいろなことを教えていただき、今でも感謝しているが、最も心に残っているのは、6年生最後の通信簿に「理屈より、まず実行!!」と、ピットクリマックをうたったことだ。きっと、口から先に生まれてきたような私の将来を案じ、反省するように最後に諭してくれたのであろう。

改めて本課の事業目的達成のために、努力を惜しんでほしいと感じた反省

前述の先生にはいろいろなことを教えていただき、今でも感謝しているが、最も心に残っているのは、6年生最後の通信簿に「理屈より、まず実行!!」と、ピットクリマックをうたったことだ。きっと、口から先に生まれてきたような私の将来を案じ、反省するように最後に諭してくれたのであろう。



【高校教育課】

欧州出張

同僚と2人で、ドイツとスウェーデンに出張した。初中等教育機関や研究所などを訪問し、教育環境に関する現状と課題について意見交換をしたが、それぞれの国において、学術用語を扱える通訳を依頼したため、何ら不自由することはなかった。しかし、通訳がいなく

改めて本課の事業目的達成のために、努力を惜しんでほしいと感じた反省

前述の先生にはいろいろなことを教えていただき、今でも感謝しているが、最も心に残っているのは、6年生最後の通信簿に「理屈より、まず実行!!」と、ピットクリマックをうたったことだ。きっと、口から先に生まれてきたような私の将来を案じ、反省するように最後に諭してくれたのであろう。

改めて本課の事業目的達成のために、努力を惜しんでほしいと感じた反省

前述の先生にはいろいろなことを教えていただき、今でも感謝しているが、最も心に残っているのは、6年生最後の通信簿に「理屈より、まず実行!!」と、ピットクリマックをうたったことだ。きっと、口から先に生まれてきたような私の将来を案じ、反省するように最後に諭してくれたのであろう。

改めて本課の事業目的達成のために、努力を惜しんでほしいと感じた反省

前述の先生にはいろいろなことを教えていただき、今でも感謝しているが、最も心に残っているのは、6年生最後の通信簿に「理屈より、まず実行!!」と、ピットクリマックをうたったことだ。きっと、口から先に生まれてきたような私の将来を案じ、反省するように最後に諭してくれたのであろう。

改めて本課の事業目的達成のために、努力を惜しんでほしいと感じた反省

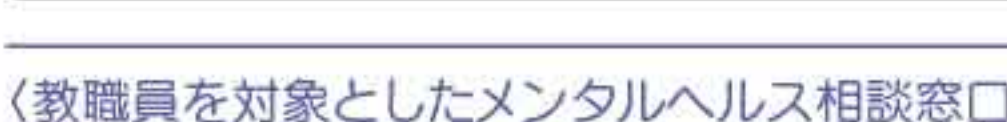
前述の先生にはいろいろなことを教えていただき、今でも感謝しているが、最も心に残っているのは、6年生最後の通信簿に「理屈より、まず実行!!」と、ピットクリマックをうたったことだ。きっと、口から先に生まれてきたような私の将来を案じ、反省するように最後に諭してくれたのであろう。

改めて本課の事業目的達成のために、努力を惜しんでほしいと感じた反省

前述の先生にはいろいろなことを教えていただき、今でも感謝しているが、最も心に残っているのは、6年生最後の通信簿に「理屈より、まず実行!!」と、ピットクリマックをうたったことだ。きっと、口から先に生まれてきたような私の将来を案じ、反省するように最後に諭してくれたのであろう。

改めて本課の事業目的達成のために、努力を惜しんでほしいと感じた反省

前述の先生にはいろいろなことを教えていただき、今でも感謝しているが、最も心に残っているのは、6年生最後の通信簿に「理屈より、まず実行!!」と、ピットクリマックをうたったことだ。きっと、口から先に生まれてきたような私の将来を案じ、反省するように最後に諭してくれたのであろう。



【高校教育課】

総合教育センター
あすなろAngle
学級集団の「聴く」を育むために

◇「傾聴する」ということ

傾聴とは、「積極的に関心を持って注意深く話を聞く」ことを指し、コミュニケーションを図る上での土台となるものです。傾聴ができていれば、相手が話をしてくれるようになり、学級全体の人間関係にも良い影響を与えます。

学級集団の「聴く」を育むために、子どもたちが相手の話を傾聴できるようにするためのポイントを挙げます。

◇傾聴するためのスキル

「ペースを合わせる」

相手の話し方、姿勢、心の状態に合わせることで、聴き手と話し手のペースが合っていないと話し手側は聞いてもらえていないと感じられま

「繰り返し」

相手が言ったことを言葉を変えずに繰り返すことで、話の内容を認識することができたり、聞いてもらえているという安心感を相手へ与えたりすることができます。

「要約する」

相手の言ったことを要約します。これまでの発言を要約することで、相手と自分の認識のズレを調整することができます。

これらのスキルを高めるためには、

- ・話しすぎない。
- ・視線を合わせる。
- ・タイミングよくうなずいたり相づちを打ったりする。
- ・話を遮らない。
- ・相手の考えを否定したり先読みしたりしない。
- ・自分の考えを押し付けない。

といった点について意識する必要があります。

◇相手への理解

スキルを身に付けても、相手を理解しようとする姿勢がなければ傾聴にはなりません。話し手の思いや感情を、聴き手側が理解し、共感して初めて相手の信頼を得ることができます。

子どもたちが、自分の思いや考えを安心して表現できるようにするためには、自分の話を温かく聞いてくれる学級集団の存在が不可欠です。子どもたちが、相手の話を傾聴できるようにすることで、学級集団の「聴く」姿勢が育まれます。そして、自他の良さを互いに認め合い、尊重し合う学級集団が形成されていきます。

【専門支援課教育相談班】

「第2回静岡岡高等学校 学校ビブリオバトルを開催しました！」

発表者が推薦する本の紹介を制限時間内に行い、観戦者の投票によって「チャンプ本(最も読みたくなった本)」を決定する「ビブリオバトル」。

県内高校生による第2回大会が、9月17日(土)、県立中央図書館を会場に開催されました。



チャンプ本を紹介した山内さん

大会当日の午前中には30人の参加者が、決勝進出を目指して予選会に臨みました。予選会では、どの発表者も本の魅力を生き生きと紹介していま

た。午後の決勝戦には、予選を通過した5人の発表者が挑みました。いずれの発表者も堂々とした立ち振舞いが印象的で、お薦めの本を手に、熱のこもった発表で観戦者を魅了しました。

決勝進出者	書名
高橋 瑞璃(静岡学園高校)	「これは王国のかぎ」(萩原鬼子著)
弓長 真由(富士西高校)	「和菓子のアン」(坂本司著)
佐藤 海羽(浜松学園高校)	「ラン」(斎藤孝著)
山内 創太(浜松市立高校)	「苦難の乗り越え方」(江原啓之著)
内野 一瑛(静岡学園高校)	「カエルの楽園」(西田尚樹著)

【社会教育課】

分を肯定する方法を教えられた。壁にぶつかったときに読んでほしい」と語りました。山内さんは、来年1月に東京で行われる全国大会に出場します。決勝進出者と紹介した本の書名は次のとおりです。(発表順)

WAZA チャレンジ教室

WAZA チャレンジ教室 教室って何?

WAZA(わざ) チャレンジ教室は、県経済産業部職業能力開発課が県技能士会連合会に委託し、毎年、県内の小学校、中学校、特別支援学校に職人さんを派遣し、児童生徒に「ものづくり体験」の場を提供している事業です。

どの学校も総合的な学習の時間や学校行事としてご利用いただいております。先生方からも「作るの大変さと達成感を味わうことができよかった」「普段関わりがない職人さんに触れ合えたことが財産になった」「二人一人に親切丁寧な声かけをいただいた」といった声が多数寄せられています。

平成29年度実施校募集

来年度は3000人の児童生徒の参加を目指し、次のとおり事業を改正します。ぜひご応募ください。(応募方法等詳しくは12月下旬(予定)に各学校に配布される募集案内をご覧ください。)

改正点

- ①小学5年生、中学2年生に限定していた参加対象を、小学5年生以上に拡大します。
- ②一人当たり小中学校2000円、特別支援学校1000円だった参加費を5000円程度に減額する予定です。

募集時期

平成29年11〜2月

「普段関わりがない職人さんに触れ合えたことが財産になった」「二人一人に親切丁寧な声かけをいただいた」といった声が多数寄せられています。



左官職人にこての持ち方を教わる生徒

平成28年度実施予定(平成28年10月20日現在)

学校数	参加者数
小学校	5 251
中学校	17 1,468
特別支援学校	15 319
その他※	3 121
合計	40 2,159

※学校外のNPO法人や放課後児童クラブでも開催可

問 経済産業部職業能力開発課
054(221)2954
054(271)1979
WAZAチャレンジ教室
で検索

三ヶ日青年の家主催事業 参加者募集
ハマナコン
～コイノハナを咲かせよう～

浜名湖の畔で素敵な出会いを見つけませんか?昨年度に続き、2度目の開催となります。昨年度は男女合わせて71人の方が参加しました。

「コイノハナを咲かせよう」をコンセプトに、レクリエーションゲームやグループ活動、食事、自由交歓などを通して、出会いの場を提供します。興味のある方は、お気軽にお問い合わせください。

■日時 平成29年2月4日(土)
■参加費(予定)
男性 3,000円 女性 1,500円
■対象 20歳～40歳男女 未婚者
■募集人数 男女各20人(全40人)程度
■活動
レクリエーションゲーム、グループ活動、夕食、自由交歓など
■申込締切 平成29年1月27日(金)
■申込方法
①～⑤を記入の上、FAXまたは郵送にてお申し込みください。
①主催事業名「ハマナコン」②参加者氏名・性別③生年月日・年齢④郵便番号・住所⑤電話番号
申・問 三ヶ日青年の家
053(526)7156 053(526)0665
〒431-1402 浜松市北区三ヶ日都築523-1

EDITOR

2002年、サッカーの日韓ワールドカップでは、エリカスタジアム隣井市が会場の一つとなりました。この大会を盛り上げようと、隣井市の小中学校は、1つの学校が1つの国を応援する、1校1国運動を行います。エリカで試合を行う4カ国(カメルーン、ドイツ、ベルギー、ロシア)のうち、ロシアを応援する中学校の生徒たちが、大使館を訪問してロシアの方と交流したり、ロシア料理の給食を通して食文化を学んだり、さまざまな体験をしました。

今振り返ると、中学生の頃にグローバルな体験をしていたなあと思ひ出し、なんと若返った気がします(気がするだけです)。(わ)

GRANSHIP
グランシップ
しずおか連詩の会
2016 大岡 信 監修

静岡県が世界に誇る文芸「連詩」
11/20 14:00開演
会場/グランシップ11階 会議ホール・風 (JR東静岡駅南口隣接)
入場料:500円 ※事前申込制、全席自由

個性豊かな5人の詩人が、3日間の創作期間で40編の連詩を創作。互いの感性で化学反応を起こす「ことば」のリレー。本会では、できあがったばかりの詩を、詩人自らが朗読、解説します。作品を通して、制作中のエピソードや、その「ことば」に込められた詩人の世界観に触れてみませんか。今回で17回目を迎え、静岡が誇る文芸文化です。

参加詩人:野村喜和夫(詩人)、高見弘也(詩人)、小笠原鳥類(詩人)、高柳克弘(俳人)、暁方ミセイ(詩人)

【お問い合わせ】
グランシップチケットセンター 054-289-9000(営業時間10:00～18:30 ※休館日を除く)
グランシップホームページからお申し込みができます。
主催:公益財団法人静岡県文化財団、静岡県 共催:静岡新聞社・静岡放送
後援:静岡県教育委員会、静岡県文化協会、静岡県俳句協会